



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2015-2016年度 第34週報 No. 1923 2016年(平成28年) 3月11日 第1923回 例会記録 3月18日発行

本日〈3月18日〉のプログラム

- ◆斉唱 「それこそロータリー」
- ◆献立 春のミニ御膳
- ◆卓話 「歯列矯正について」
市瀬矯正歯科 院長 市瀬 毅 様
(紹介者 西山 潔 会員)

<<本日のBGM>>
アルバム「MARKUNS PLAY BACH」より



PHOTO 小池将夫会員

司会 小山 市康 副幹事

結婚記念日祝 山本 登 会員 (3月13日)

点鐘 江森 国一 会長

斉唱 「我等の生業」

四つのテスト 山本 芳弘 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 渡邊 チエ 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介 川崎南RC 田中 孝司 様



2015-2016年度 RI会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン



世界へのプレゼントになろう

第2590地区 ガバナー 箕田 敏彦

会 長 江森 国一	会 計 渡邊 淳
会長エレクト 植田 清司	副 会 計 白井 康夫
副 会 長 矢野 修二	S A A 長井 章
副 会 長 加藤 仁昭	副 S A A 白鳥 厚夫
幹 事 朝日 達夫	副 S A A 澁谷 高弘
副 幹 事 小山 市康	クラブ会報 田中 龍太郎

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

会長報告

江森 国一 会長

- ・台北滬尾RC公式訪問に、大勢の参加をお願い致します。
- ・3月19日(土)にWWFジャパン主催により桜木町駅前広場で開催される環境イベント『アースアワー2016』のチラシをボックスに入れましたので、興味のある方はご参加下さい。

幹事報告

植田 清司 直前幹事

- ・本日、例会終了後に3月度定例理事会を開催致します。
- ・只今閲覧しておりますタウンニュース(3/10号)に、田邊正彦会員の記事が掲載されております。長年、町会長を務められまして、永年在職者表彰を受けられたとのこと。おめでとうございます。

出席報告

中野 真理 出席委員長

会員総数	52名	(31+21)名	
出席会員数	36名	(21+15)名	
出席率	78.26%		
ゲスト	1名	ビジター	1名
前回補正後	91.84%	前々回補正後	93.62%

スマイルボックス

長井 章 SAA

川崎南RC 田中孝司様 久しぶりにメイクに参りました。

山本 登君 結婚祝い、ありがとうございます。

富居利貞君 ご無沙汰しております。

江森国一君 台北滬尾ロータリークラブ公式訪問の案内をボックスに入れました。大勢で訪問したいと思いますので、よろしくお願い致します。

山木幹夫君 沈丁花の香り漂う季節となりました。春ですね。

月山 勇君 2011. 3. 11 東日本大震災。くしくも5年前の今日この日、金曜日の例会終了直後でした。その日のことはまだまだ鮮明に記憶に残っています。で！先週のスマイルにて認知症になりやすいタイプ、堂々第一位ランクインでしたが・・・当分ランク外で。安心してください、大丈夫です。

西山 潔君 ①渡邊チエ様、本日の卓話、宜しくお願い致します。楽しみにしております。②古澤さん、昨日は偶然の出会いにビックリでした。

天野公史君 渡邊先生、本日はお忙しいところありがとうございます。

澁谷高弘君 ①川崎南ロータリークラブの田中孝司様、ようこそいらっしやいました。②冬に逆戻りです。体調に気を付けましょう。

長井 章君 5年前の今日、車で丸子橋を渡っている時、グラッと来ました。

3月11日	10件	31,000円
本年度累計		1,475,913円

「日本文化の一つとして、きものを語る」

社団法人服飾文化研究会 会長 渡邊 チエ 様

(紹介者 西山 潔 会員)



世界中いづこの国の民族衣装も、歴史があり、それぞれに美しいものです。

かつて、平凡社から出版された、生活を考えるシリーズものに「着る」と題された本に世界中の民族衣装の中で一番優れているのは、インドのサリーと日本のきもであると、世界の著名なデザイナーたちが評価しています。また、「九鬼周造」の「いきの構造」には、日本のきものは、何を着るかではなく、どう着るかが大事であると、説いています。等々

日本のきものは、長い服飾文化を経て、完成したと言われたのは江戸末期であって、その後今日まで形も寸法も、着かたにも、大きな変化はありませんが、明治、大正、昭和、それも戦後にとそれぞれ、きもの改良をしようとする動きがありました。皆が望む、活動的、経済的、着やすさを求めた筈なのに、何ひとつ定着しなかったのは何故か、不思議でした。

他国の民族衣装と比較して、特徴を述べると、織の種類の多さと風合の良さ、そして日本の色、すべての色に灰色を入れて、柔らかく明るく、また、灰色を混ぜる度合いによって色調を多く生み、日本の色は2000とも言われています。

模様、森羅万象すべて、きもの絵になっています。

型、きものは定型であり、すべての寸法が黄金比か、それに近いものになっています。黄金比など知る由もない、江戸時代女達が言い合って自然に出来上がったもので、この美意識が世界に類のない融通無碍、着つける行為に精神性の高い衣服になったと思うのです。

次回〈3月25日〉の予定

テーマ 「街を油田に！」

(株)ユーズ 代表取締役 染谷 ゆみ 様

(紹介者 天野 公史 会員)